

平成 30 年 第 1 1 回

富 山 県 教 育 委 員 会 会 議 録

I 開会及び閉会の日時

平成 30 年 10 月 22 日 (月)

開会午後 1 時 00 分、閉会午後 1 時 44 分

II 場所

教育委員会室

III 出席委員

1 番 鳥海 清司

2 番 山崎 弘一

3 番 町野 利道

3 番 藤重 佳代子

5 番 村上 美也子

教育長 渋谷 克人

IV 説明出席者

教育次長 坪池 宏

教育次長 布野 浩久

教育企画課長 津田 康志

生涯学習・文化財室長 菊池 政則

教職員課長 坂林 根則

県立学校課長 本江 孝一

小中学校課長 金谷 真

保健体育課長 東瀬 義人

V 傍聴人数 1 人

VI 会議の要旨

午後 1 時 00 分、渋谷教育長が開会を宣する。

1 会議録の承認について

(平成 30 年 9 月 28 日開催の平成 30 年第 10 回富山県教育委員会会議録)

会議録閲覧

渋谷教育長から可否を諮ったところ、全員異議がなく承認した。

2 議決事項

(1) 議案第 27 号 平成 30 年度教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書 (平成 29 年度分) の件
教育企画課長から説明し、原案のとおり可決した。

(2) 議案第 28 号 平成 31 年度富山県立高等学校入学者募集要項制定の件

(3) 議案第 29 号 平成 31 年度富山県立特別支援学校高等部・幼稚部入学者募集要項制定の件
県立学校課長から説明し、原案のとおり可決した。

3 報告事項

(1) 「富山県教育フォーラム」の開催について

(2) 平成 30 年度「ふるさとの優れた先人に学ぶ」作文コンクールの結果について
教育企画課長から説明した後、教育長が補足説明をした。

(3) 平成 30 年度「高志の国文学」情景作品コンクールの結果について
生涯学習・文化財室長から説明をした。

(4) 第 73 回国民体育大会の結果について
保健体育課長から説明をした。

4 その他

今後の教育委員会等の日程について
教育企画課主幹から説明した。

5 議決事項

午後 1 時 40 分、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項ただし書の規定に基づき、
議案第 30 号については、委員全員の同意により会議を非公開とすることを可決し、議事の審議に入った。

6 議事

○議決事項について

議案第 27 号関係

〔鳥海委員〕

- ・学識経験者からの意見について、この中にはこういうものも評価の観点に入れてみたらどうかとか数字で表してみたらどうか、というような意見をすぐにこの報告の中に活かして修正するということは今のところ考えていないということでしょうか。

〔教育企画課長〕

- ・今年度いただいた意見については、別冊資料の例で言うと 53 ページを見ていただきたいのだが、これは昨年いただいた意見に対しての取組状況であり、29 年度に対応をどうしたのかということを紹介している。そのため今回の 29 年度事業に対する意見をいただいたものは、今後なるべく反映してその結果について来年度また報告させていただくという形になっている。

議案第 28 号関係

〔鳥海委員〕

- ・8 ページの一般入学の追検査について、(1) のアのインフルエンザ罹患等、イのやむを得ない理由のある者のところで、今口頭では説明していただいたが、今後このことが受検生に分かるように何か別紙等を準備する予定はあるのか。

〔県立学校課長〕

- ・この後、中学校の校長先生あるいは進路の担当者に対して説明会を実施させていただく。その際にこの変更点については、今回新しく入るので丁寧に説明をさせていただきたいと思っている。

〔教育長〕

- ・昨年ご意見をいただいた分は折り込んだつもりではあるが、いずれにしても一般入学の追検査の部分、今一つは、水橋高校の体育コースで率を変えて、今度は最後の一年生となっていくものであるので、学校の意見を踏まえて少し変えさせていただいたところである。

報告事項(3) 関係

〔村上委員〕

- ・高志の国文学など作文コンクールに参加される人が増えている。参加するからには、いろんな過去の文学に触れたりとかそういった機会も多いのだろうと思うので、すごく良いことだと思う。

〔教育長〕

- ・特に今年は大伴家持生誕 1300 年ということであり、積極的に学校現場に PR を行ったことで伸びたのだと思う。

〔村上委員〕

- ・PR を増やされているということですね。

〔教育長〕

- ・はい。また、関連作品の物が非常に増えているのも事実である。

〔村上委員〕

- ・山梨県の寿命がすごく高いのは、本を読む時間が長いということが出ていた。本を読んで料理を作ったりとか、本を読んでいくことが良いことかなと思う。

〔町野委員〕

- ・教養が高いところは寿命も長いということが書いてあった。

〔村上委員〕

- ・幼いうちに触れないとだめなんですかね。

〔町野委員〕

- ・体育関係は県の競技会があって、全国的な競技会が最近は小学校でもよくある。小学校、中学校、高校と全部、全国ニュースになっている。この科学オリンピックも県でずいぶん長いこと取り組んでおり、成果を出しているが、文科系で県から全国大会へとつながるものは何があるのか。

〔生涯学習・文化財室長〕

- ・中学校であれば中学校総合文化祭があり、高校でも高総文祭がある。

〔町野委員〕

- ・それは先生方はよく理解できているけれど、我々一般の人間はあまり新聞に載るわけでもないから、接することがないということか。

〔生涯学習・文化財室長〕

- ・高校生では、らいちょうという記事を北日本新聞でも載せていただいていたたり、あるいは平高校の郷土芸能部が最優秀をとったりなどそういったことはある。

〔教育長〕

- ・個別でコーラスとかブラスバンドとか、そういったものが一番分かりやすいかもしれない。

〔町野委員〕

- ・体育系、運動系は一つにまとまってピラミッド的、面積的に見えるが、文化系の方は飛び石状態になっており何か一つの組織的に見えないところがある。何かそういうふうな形になると面白いと思う。

〔教育長〕

- ・文化系はコンペティションに向くか向かないかというのがある。

〔町野委員〕

- ・おそらく官と学だけで一生懸命やってもだめで、民間が関わってこないといけないと思う。体育であれば民間では体育協会みたいなものがしっかりあるので、そういったものを入れていくとか。

〔村上委員〕

- ・評価が難しそうですね。

報告事項（４）関係

〔山崎委員〕

- ・15年前から未来のアスリート発掘事業に取り組んでいて、その成果が現れていると書かれているが、成果が現れるのは、この事業の対象となることが終了してから何年くらい経つてのことなのか。

〔保健体育課長〕

- ・小学校6年生で修了となるので具体的に言うと、次の年が中学1年生、全中で活躍するのが中学校3年生だとすれば2、3年後、インターハイで活躍、国体で活躍するとすれば5、6年後、世界の檜舞台となると大学生、それから卒業してからなのでそういった意味では、現一期生は大学卒業して2年目となるが、日の丸をつけて全日本として活躍している者もいる。

〔教育長〕

- ・未来のアスリート発掘事業というのは、小学校5、6年生で競技団体も含め各学校の推薦において、特に優秀な子ども達をいろんな面でフォローするという事業である。この続きがあり、中学校になるとスポーツ道場事業などという形で、またいろんな面でフォローアップを継続している。ジュニア期からの選手育成・強化事業のため競技団体と一緒にあって取り組んでいるものの一つである。

〔鳥海委員〕

- ・未来のアスリート発掘事業の選手が活躍しているということは非常に良いことだと思うが、活躍している競技種目を見ていると伝統的に富山県が強い種目だけな気がする。未来のアスリート発掘事業では、富山県が伝統的に強い競技種目から選ばれてくるのか、そうではなくてもっと幅広く選んでいるけれども残るのはここだけということなのか。また、今年は少年で非常に良く点数を稼いだということだが、先日からもずっとやっているように働き方改革のところでクラブ時間という話がでていいる。そこの兼ね合いも中々難しいと思うので、また考えていかなければならないですね。ここは答えが出る話ではないので、意見として。

〔保健体育課長〕

- ・未来のアスリート発掘事業の選考方法は、基本は公募である。小学校 5 年生の段階でいわゆる工夫した測定方法で選抜するのだが、例えば走ったり跳んだりとはあまり相関がない競技、水泳の飛び込みとか新体操とかの方々が引っかけられないため、5 年目から競技団体推薦という枠を設けた。そういった意味では、競技団体が自信を持って、そして小学校卒業してからもしっかりみていきますよという意識が厚い。こちらに挙がっているホッケーとかハンドボールといったお家芸が結果を残している。しかしながらここには挙がってきていないが、陸上でも未来のアスリートが去年は福島選手が 200m で優勝しており、お家芸だけではない。また、サッカーにおいては宝田選手が県外に行ったが、U20 でなでしこジャパンを狙っている位置におり、バスケットにおいても馬場選手や八村選手は日本代表として頑張っているところである。

〔教育長〕

- ・これは国体だけをあげたものである。水球日本代表の稲葉選手は修了生でなかったか。

〔保健体育課長〕

- ・稲葉君はエントリーはしたが、選考会の日には試合があって受けられなかったのが残念ながら。

〔教育長〕

- ・一応は幅広く育てているつもりだが、たまたま今回の国体の入賞者はこのような構成となっている。

午後 1 時 44 分、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。